

町内探検隊



今月の舞台 和泉町



町内会長の早川さんと弥厚像

和泉町の早川町内会長に、まちの紹介をしてもらいました。

◆丈山・弥厚のさと

和泉町は、江戸時代の文人である石川丈山と、明治用水の計画を作った都築弥厚が生まれたところです。毎年地元の青年団による盆踊り大会では、「やぶの長者の丈山先生」や「神とたたえる弥厚さん」と歌われる和泉音頭を踊ります。町内にある丈山苑と弥厚公園には、



安城が原の名残

それぞれ銅像があるんです。

◆昔のようすが残る場所

デンパークの西あたりから弥厚公園まで続く松や竹の林は、ここが原野(安城が原)だったところの名残です。ほかの地区ではこうした風景は見られなくなりましたが、ぜひ保存したい自然遺産です。

◆2つのお地蔵さん

有名な地蔵を2つ紹介します。1つはまちの南端にあるもの。肩口に「寛政12年」とあ

りますが、古さを感じないくらいきれいです。それは、毎日近所の人が入り、子どもたちも手を合わせるほど親しまれているから。言われ書きによれば、まちに泥棒が入らないようにとの願いが込められているそうです。もう1つ、集落の中程に、高さ2.5mもの大きな地蔵があります。台座には「右をかざき道」「左あんじゃうテーシャバ道」の文字があり、こちらにも歴史を感じます。



まちの南端にあるお地蔵さん

元気っ子アルバム



新實彩花ちゃん(8か月)

七夕生まれの彩花です♡毎日元気にハイハイしています!おでかけするのも大好き♡早く上手に歩けるようになりたいな。
お父さん: 稔也さん
お母さん: 真澄さん (新田町)

すぎうらしおりの杉浦絆菜ちゃん(4か月)



お風呂が大好きな、しおりです♡最近のお気に入り、お散歩♪大きくなったら、いろんなところに連れて行ってネ!!
お父さん: 功基さん
お母さん: 祐子さん (横山町)



堀田奏聞くん(8か月)

ぼくは奏聞です。オリンピックフィギュアスケートに夢中になりました。ぼくも大きくなったら何かスポーツをしたいです。
お父さん: 正光さん
お母さん: 信子さん(御幸本町)

「わたしの望遠郷」「元気っ子アルバム」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。
わたしの望遠郷▶皆さんの出身地を紹介 元気っ子アルバム▶皆さんのお子さん(未就学児)を紹介
申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。

わたしの望遠郷



岐阜県中津川市

わたしが生まれ育ったのは岐阜県東部、長野県との県境にある加子母(旧恵那郡加子母村)です。9割以上が山林で、ひのきの産地でもあります。それに、山や川などの素晴らしい自然に囲まれた場所です。

幼いころは、よくかごを背負って、山へ入りました。山に生えるたくさんの山菜を、取って食べるためです。また、桑の葉もよく取りました。これは育てていた「かいこ」のえさにするため。当時は、かいこと一緒に寝ていたため、夜中にはガサガサと、かいこの動く音が聞こえました。山では、誤ってうるしの木に触れてしまい、顔がはれたこともありました。

川には、山から冷たくきれいな水が流れ、サンショウウオや、

なますのようにひげの生えたアカネギという魚がいました。

雪が積もると、竹で作った手作りの板でスキーをして遊びました。また、芝居小屋へ行き、浪花節を聞くのも楽しみでした。

親は炭焼きの仕事をしていましたが、決して裕福な生活ではありませんでした。近くの川で小魚やカエルを、山で蜂の巣や桑の実を取ってきて、食べたこともありました。

安城に来たのは、14歳のとき。安城中部小学校の南側にあった繊維工場で作る仕事をしていた。

した。お金が貯まると、実家に2000円くらいの仕送りをしていたのです。

少し前、娘と一緒に加子母へ行きました。最近ではすっかり足が遠くなっていましたので、とても懐かしく感じられました。

石川すみゑさん(池浦町)



石川さん(左)

スクールナビ



安祥中学校

今回のスクールナビは、今年度で開校30周年を迎える安祥中学校を紹介します。

2年生時に開催する立志の行事は、その名も伊吹山鍛錬登山。標高1377mの山道を、グループごとに分け、約4時間かけて登ります。長く、辛い道を登りきると、達成感に加え、一緒に声を掛け合う仲間の大切さを感じることができます。

本校には、全校生徒が大合唱



歌の会

をする「歌の会」というイベントがあります。これは、生徒の中から選ばれた実行委員会による手作りの行事。委員会のメンバーは、卒業を間近にする3年生ばかりなので、精一杯盛り上がります。曲目は校歌に始まり、思い出深い合唱曲や、友だち・青春をテーマにしたポップスも。歌い終わるたびに歓声の上がる行事は、ほかでは見られません。

最後に、吹奏楽部の活躍を紹介



伊吹山鍛錬登山

を紹介します。今年度、県の代表校に選出され、中部日本吹奏楽コンクールへの出場を決めた同部は、地域の行事にもひっぱりだこです。それは演奏技術だけでなく、演奏する曲目にも魅力があるから。例えば、町内敬老会では、お年寄りでも歌えるような歌謡曲を中心に演奏します。参加者の中には手拍子をしたり、一緒に歌ったりする人もいて、毎回大盛況になるのです。



町内敬老会で演奏する吹奏楽部